

た面が波形になつてゐたり、段があつたり、甚しく荒んでゐるやうではよくありません。是等は何れも次の原因によつて起るのであります。

一 振いた面に段の出來るのは、鋸刃に疵の入つてゐる場合であります。

かゝる場合は直ちに機械の回轉を中止して能く検査し、若し疵の入つてゐることを發見したならば、修繕を加へます。

二 振いた面が波形になつてゐるのは、鋸刃の腰入がわるいためであります。

この場合も鋸刃を修繕しなければなりません。

三 振いた面が荒びるのは、鋸刃が磨耗して切味がわるくなつた爲めであります。

この場合は鋸刃を研ぎ直します。

挽き終つて送材車を元の位置に戻す時は、鋸に木材を當てないやうに注意せねばなりません。送材車は返り工程に移ると、自動的に3耗くらゐ後へさがるやうになつてゐる機械が多いが、若しこの裝置がない場合は、ハンドルを動かして木材を少し戻し、木材を鋸に當てないやうにします。

米松板子材から羽目板を製材する場合は、先づ長さを適當に切つて、圖一のやうに大割りをします。この場合米松の表面には龜裂が入つて居りますから、表面からイの部分を取り除く必

要があります。

また板幅が前の方と後の方とで差があつてはいけませんから、取付替へをしないで挽いて平行にします。

若し取付替へをする必要のある場合は、兩端が平行に

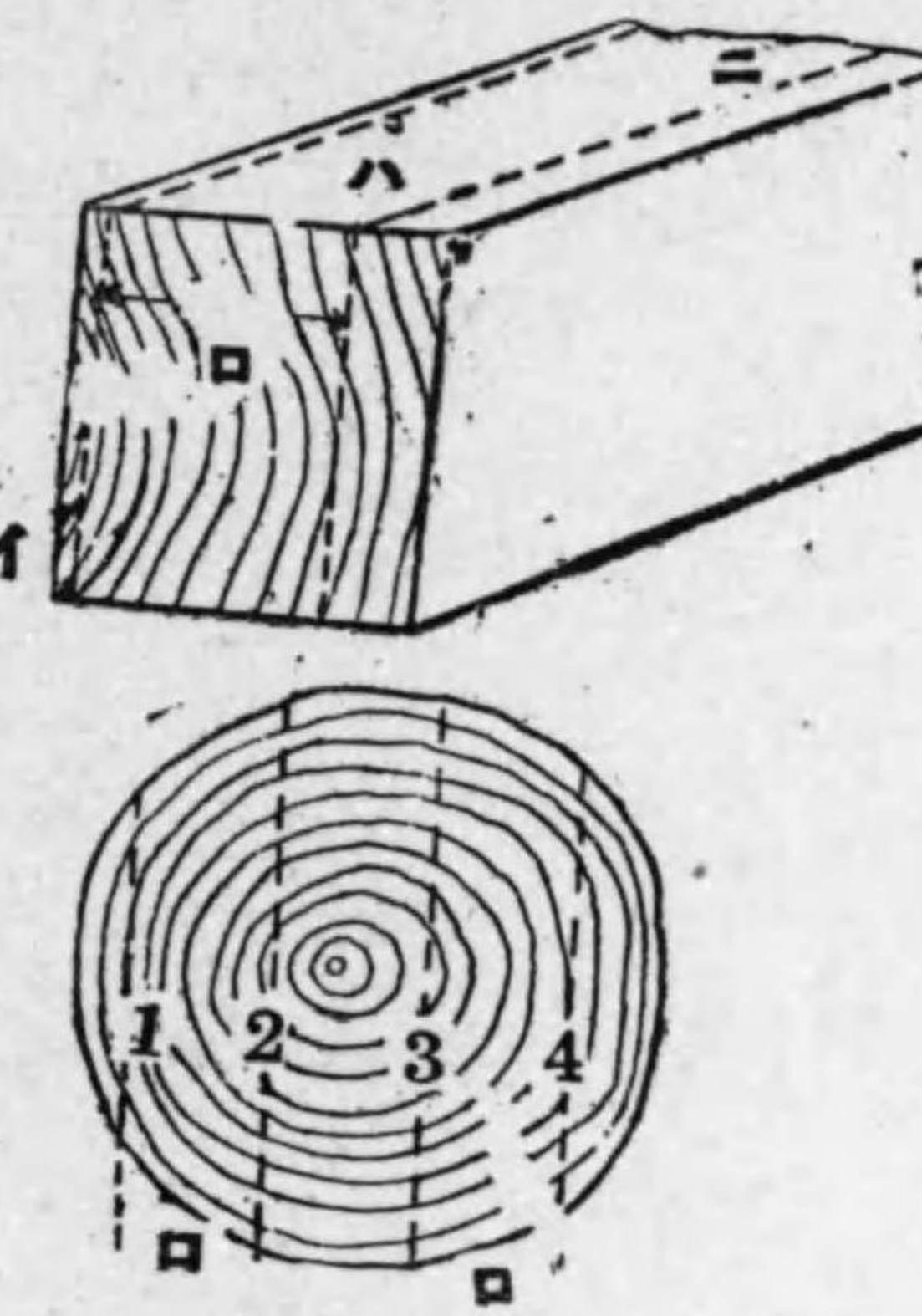
挽けるやうに、取付臺の位置を揃へて木材を取付ける

のであります。

丸太材は圖二のやうに大割りを行ひます。圖のやうに大割りするには、原木は一度取付替へをすればよいが、四面の背板を初めに取りそれから大割りすると、幾度びも取付替を行はねばならぬことになります。

また圖に示すやうに兩側の板1, 2及び3, 4は、羽目板の幅に等しく取り、中央の板3, 4は、原木の太さに應じて適當の厚さに取ります。

第一二圖 大割りの仕方



□ 板幅 ハ前 ニ後

**小割りの仕方** 小割りとは大割りにした木材を、所要の形に挽き取ることであります。

小割作業は小割用の帶鋸盤または圓鋸盤で行ふのが原則であります。羽目板のやうな大きなものは、大割鋸で挽くのが普通であります。

小割用鋸を使用して小割りする場合は、木材案内と鋸刃との距離を、製材の厚さだけにすることに依つて、製材の厚さを一定することが出来ます。また大割鋸で小割りを行ふ際は、材料を取り付けた臺を、一定寸法づゝ送り出す装置があります。

小割りは大割りした木目を調べ、それに應じて行ひます。

## 第二節 床板 製材

床板は羽目板ほどのよい板でなくてもよいが、相當の強さを持つてゐるものが必要であります。

これに用ひる原木は羽目板と殆ど同様であります。米松板子材は使用せず、一般には角材から製材します。

床板も理想からいへば、柾目板にするのが望ましいことあります。経済的に考へて柾目と板目を混用しても差支ありません。

このやうに床板は柾目でも板目でもよく、且つ樹心を含んだものでも差支ないのでありますから、其の木取法は圖一に示す

如く、極めて簡単に行はれます。即ちこの圖一のやうにすれば、中央から取つたものは柾目となり、兩側の方は板目となるのであります。

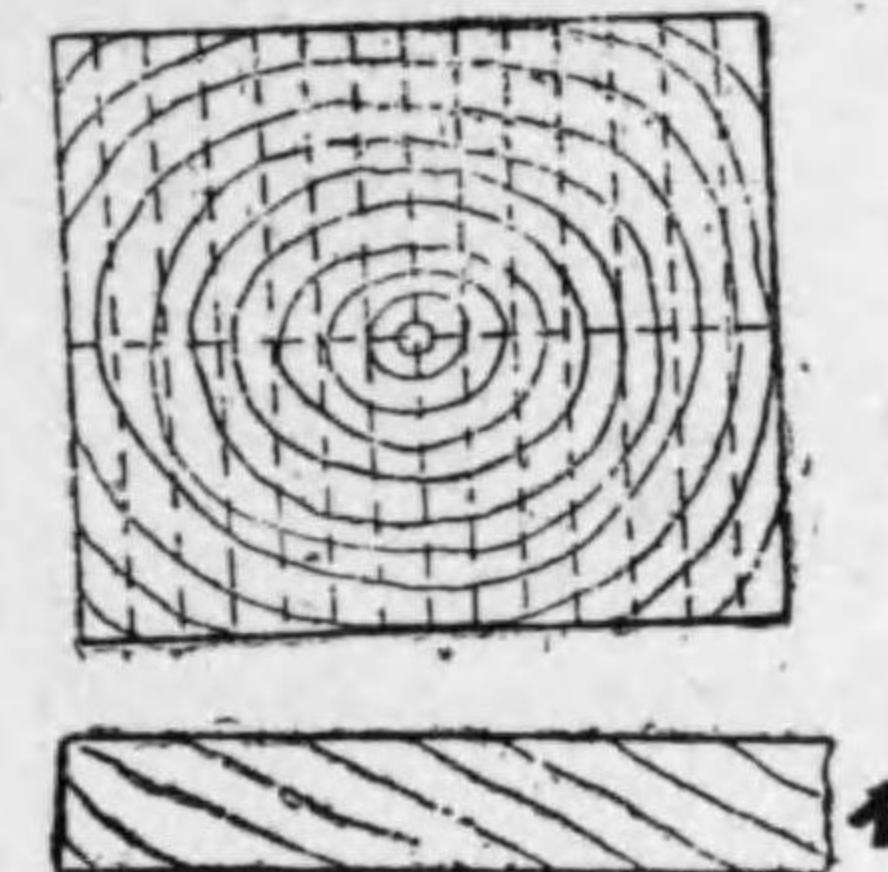
床板を製材する場合、その方法を誤ると、圖二に示す如く板の側面の木目が、斜めに入つた板を作ることになります。かやうなものを目違材といひ、原木の中心線と平行に木取らないために生ずるのであります。

床板を製材する原木には節の入つたものが多いが、この節に死節と活節とがあります。死節といふのは節の周囲が、母材から離れてしまつたもので、薄い板にすると節が抜け出てしまひます。活節はその周囲が母材と結合してゐますから、抜け出することはできません。

木の節は製材した場合、成るべくその断面が丸くなるやうに切るのがよく、流節といつて断面が椭圆形に表はれるのはよくありません。

流節が板の中に入ると、その部分が折れ易くなります。それで流節を作らないためには、節は必ず樹心から放射状に入つて

第一一三圖 床板の木取り



1 板側面

ゐるものでありますから、その節に直角に板を取るやうにします。

### 第三節 柱 製 材

柱は相當の強さが必要でありますから、硬質の材料を用ひます。

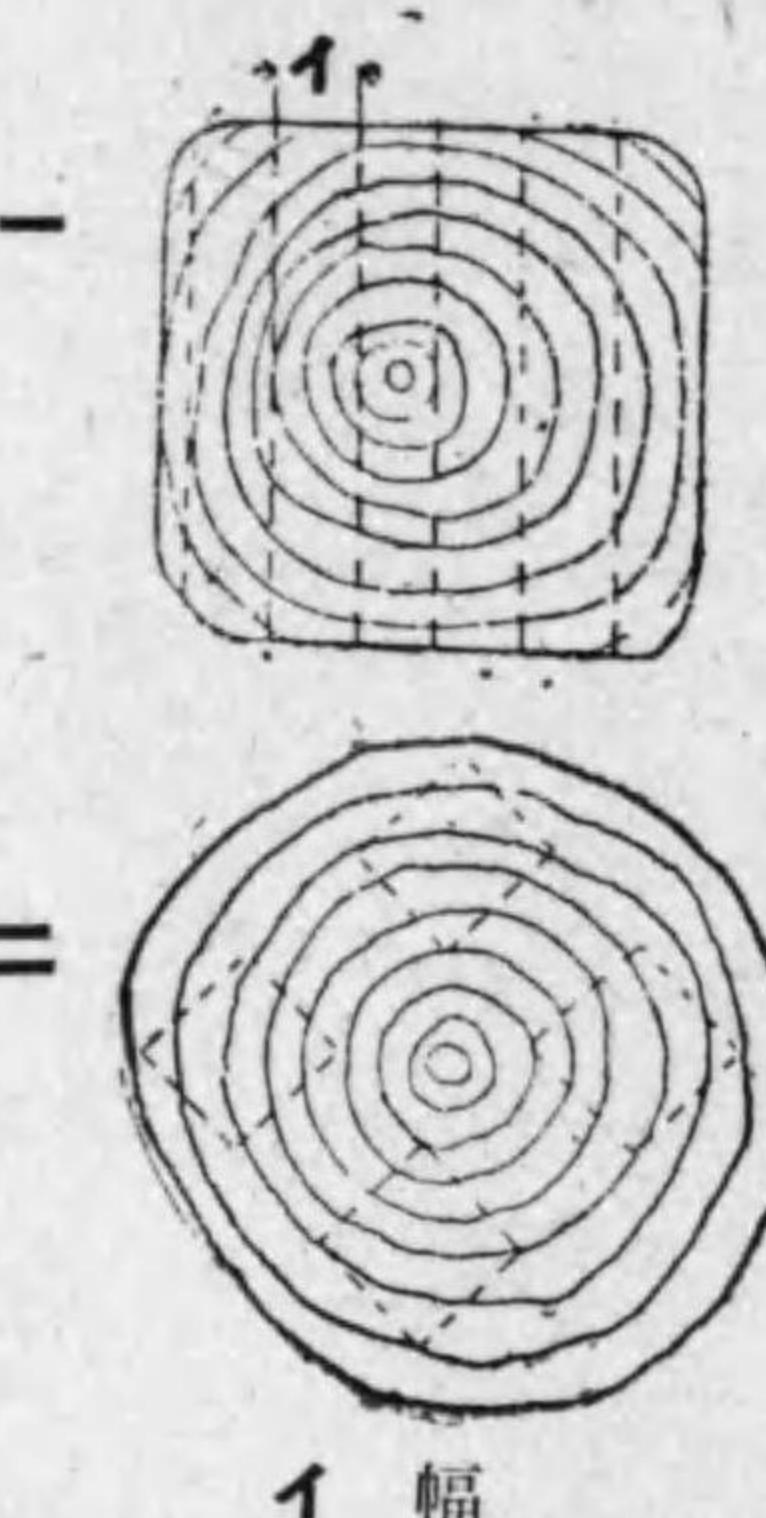
柱材などは柱の材料として一般に使用されて居りますが、この原木は柾角といつて、丸太の四面を削り、大體に角材となつた形で販賣して居ります。

第一一四圖 柱製材の仕方

柱を製材するには、先づ原木を柱の長さに切斷して圖一のやうに柱の幅に大割りし、次に小割鋸を用ひて柱の厚さに小割りします。

この際樹心は弱くて使用に堪へませんから、取り去らねばなりません。

柱は二面が柾目に、他の二面が板目となつてゐるのが普通であります。各面が柾目になつたものもあります。之を四方柾目といつて良質の柱であり、こ



れを取るためには、圖二に示したやうな位置から取ります。

### 第四節 硝子戸枠製材

窓硝子戸枠にチーク材を用ひるものとすれば、必ず柾目に挽いて、且つ木目や材色が成るべく揃つた方がよいのであります。

チーク材は南洋から角材として輸入される原木で、質は硬く狂ひを生ずること少く、材色は暗褐色を呈し樹心は濃く、外部は淡くなつて居ります。同じ場所に用ひるならば、樹心と外部とを混ぜて使用します。

窓硝子戸枠は小さいものでありますから、その寸法には關係なく原木を三つか四つに大割りして、小割作業に適する大きさにします。これを挽くに當つては、チーク材は米松よりも質が硬いから鋸の張りを強くし、且つ送材車の送りも小さくします。

小割りをするには小割用帶鋸盤または、圓鋸盤を使用しますが、帶鋸盤を用ひる方が、圓鋸盤よりも材料が經濟的になります。それは圓鋸は帶鋸よりも厚くて、材料の挽減りが多いからであります。

1本の木材の中でも、木目の荒い部分と細かい部分とがあります。木材の断面を見ると一方が細かく、一方が荒くなつて居りますが、細かい方は日表と稱し、木が生えてゐた時太陽によく當つた側であり荒い方は日裏といつて日蔭の方であります。

材料としては日表の方が、日裏の方より優つて居ります。それは日表の方は質が細かくて丈夫だからであります。

チークの原木に存する缺點として、大體次のことも知つて置く必要があります。

- 一 心の枯れてゐること。
- 二 虫喰ひとなつてゐること。
- 三 有害な節のあること。

### 第五節 人工乾燥法

**木材の乾燥** 木材の乾燥法には天然乾燥法と人工乾燥法とがあります。

原木から製材した木材は、相當の水分を含んで居りますが、これを其のまゝ使用しては、日が経つて自然に乾燥し、収縮したり歪んだりして種々の故障を起します。これを防ぐため製材は必ず乾燥を行ふ必要があります。

天然乾燥法は木材を適當な方法で積み重ねたり、或は立て掛けたりして、大氣中で自然に乾かし水分を少くする方法であります、これには非常に長い時日を要します。

人工乾燥法は乾燥室を用ひたり、その他色々な人工的方法によつて木材を乾燥するもので、この方法は短日月に乾燥の目的を達するといふ利益があります。

木材の乾燥の程度を表すには、現在その木材の単位體積の中に含まれてゐる水分の重さと、その木材を水分を少しも含んでゐない状態の絶対乾燥させた時の、単位體積の重さの比を 100 倍したもの、乾燥度何パーセントと呼んで表はします。

原木の含んでゐる水分は、木材の種類によつて異なり、その他いろいろの状況によつて違つて居りますが、普通では檜において 80 パーセント、米松において 40 パーセントから 50 パーセント位であります。

これを乾燥させて使用する場合には、13 パーセントから 15 パーセント位の乾燥度にすることが必要とされて居ります。

木材の乾燥度をこの程度としたのは、永年の経験から割出したものでありますが、木材を 7.8 パーセントまで乾燥して用ひると、使用中に含水量が少し戻ることになりますが、その場合木材の狂ひは比較的少いから、實際は 7.8 パーセント程度まで乾燥することが望ましい譯であります。

然かし木材は含水量の多い間は乾燥は早いが、含水量が少くなると乾燥に時間がかかり、乾燥度を少し下げても乾燥時間に非常に影響しますから、設備その他の關係から、已むなく 13 パーセントから 18 パーセントくらいを標準とするのであります。

**天然乾燥法** 木材を空氣中に積み重ねて置いたり、立て掛け

て置いたりして、木材中に含まれる水分を自然に蒸発せしめる方法が天然乾燥法であります。

木材は任意の場所に放置しても自然に乾燥しますが、天然乾燥法では特に乾燥し易い場所を選び、且つ乾燥し易い置き方をして、成るべく短日月の間に乾燥せしめんとするものであります。

木材の天然乾燥法については、次の條件を備へることが必要であります。

- 一 濡潤な場所でないこと。
- 二 風通しのよいこと。

以上は乾燥をよくするために必要な條件であります。

- 三 日光の直射しないこと。

これは木材に龜裂を生じたり、狂ひを生ずるのを防ぐための條件であります。

木材を天然乾燥する時の材料の置き方には色々ありますが、大別して積み重ねる方法と、立て掛ける方法とに別つことがあります。

この二つの方法を比較するに、立掛け式は面積が少くて済み乾燥も早いが、木材に狂ひを生ずる場合が多く、積重式は面積を多く要し、乾燥にも多くの日子を費しますが、狂ひを生ずることの少い利益があります。

いたる板類を乾燥する場合、最も普通に用ひられる積み方は平積みと稱し、板と板との間に棧を入れて積み重ねる方法であります。が、この方法による時には、土臺は床面から300耗くらゐ高くし、棧も充分乾燥して且つ厚さの一様なものを用ひる必要があります。

このやうに土臺を高くして置くのは、地面から湿氣を呼ぶことを防ぐためであり、棧もよく乾燥したものを用ひるのは、棧の當る部分が、不乾燥になることがあり、それを防ぐためであります。また棧として厚さの一様な木を用ひるのは、木材の狂ひをなくするためであります。

**人工乾燥法** 木材の人工乾燥を行ふには、乾燥室が必要であります。

乾燥室は板を二重張りとし、その間に木屑などを詰めて、外部に熱が漏れることを防ぐ構造とし、一方には口を設けて、木材を出し入れするやうにします。

その他乾燥室としては、次のやうな設備が必要であります。

- 一 室内に蒸氣を噴出せしめる装置。
- 二 熱した空氣を室内に吹き込む装置、または室内の空氣を熱する装置。
- 三 空氣の出入する口、凝結水抜口、寒暖計及び湿度計。

次に木材乾燥室において、木材を乾燥させるためには、次の

順序で操作します。

一 木材の運び入れ。二 蒸材。三 乾燥。

四 冷却。五 木材運び出し。

乾燥室には、熱した空気を外部から吹き込むものと、室内の空気を熱して木材の乾燥を行ふものとがあります。

木材を乾燥室に運び入れるには、豫めトロの上に木材を積んで置き、そのまま室内に運び入れるのが便利であります。その積み方は天然乾燥法の積重式の如く、板と板との間に乾いた棧を入れ、相互間に相當の間隔を置いて積むのであります。

蒸材といふのは、蒸氣を乾燥室に吹き込み、10時間乃至20時間くらい木材を蒸すことであつて、之を行ふのは直接乾燥を行ふと、木の表面が内部よりも早く乾燥するため、表面に龜裂を生ずるからであります。

蒸材を行つて蒸氣を吹き込むと、木の表面の方が内部よりも多く水分を持つやうになり、これを徐々に乾燥せしめると龜裂を生じないのであります。

乾燥工程では高溫度に熱した空気を木材の間に流通させ、木材の中に含まれてゐる水分を蒸発させるのであります。

この工程では最初は、比較的低い溫度にして、徐々に溫度を高くして行きます。また溫度と同時に、適當に濕度を加減することが必要であります。溫度は最初に高くして置き、次第に

低くして行きます。

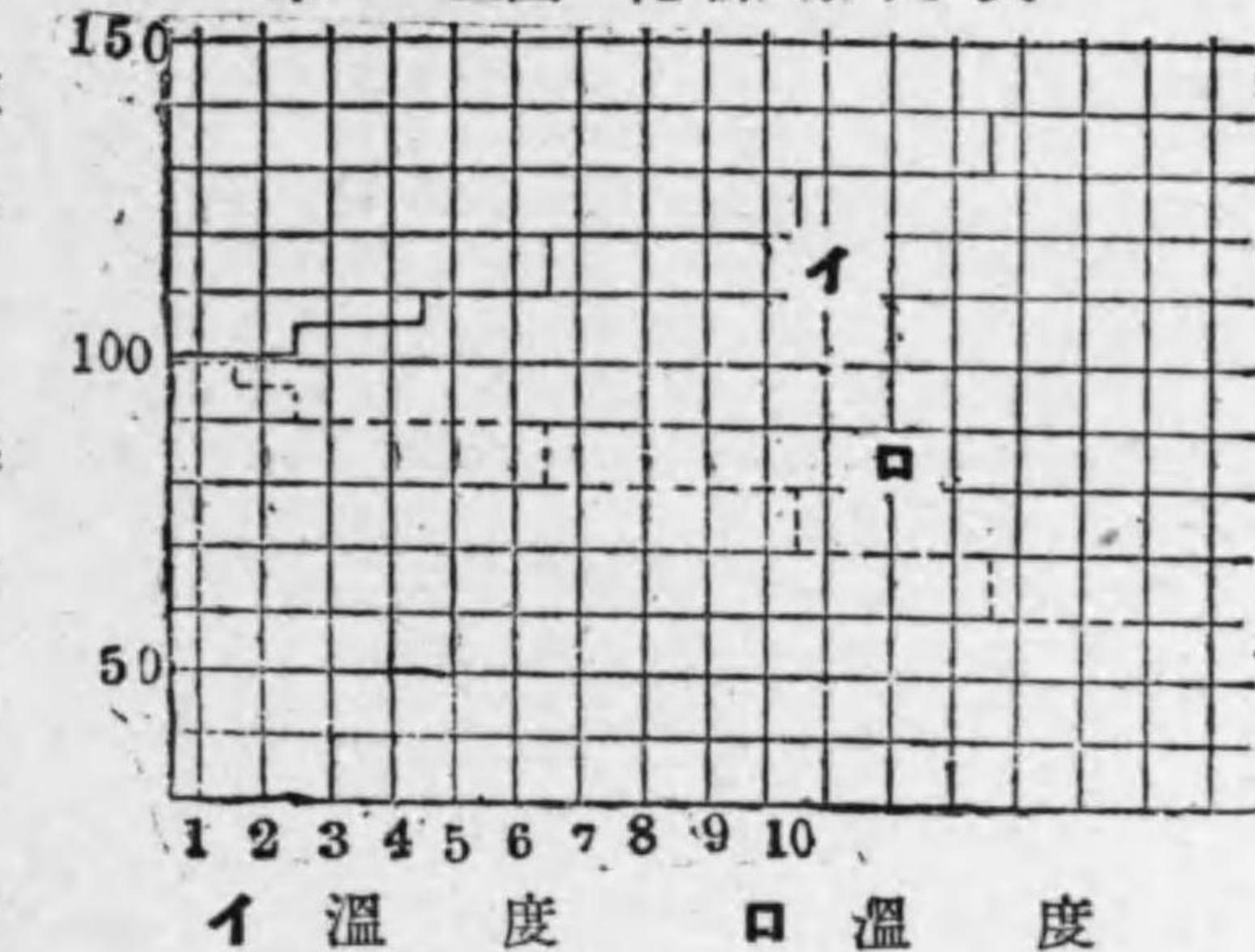
若しこの加減を誤ると、木材が龜裂を生じたり歪んだりします。溫度と濕度とは、木材乾燥の上にこのやうに大切なものです。ありますが、その方法は次の如くします。

即ち乾燥工程における濕度と溫度との加減は、木材の性質及び含水量によつて變へねばなりませんから、木材の種類によつて乾燥豫定表を作り、これに依つて加減するのであります。

圖はその乾燥豫定表の一例であります。この豫定表よりも溫度の上りすぎた場合は、空氣を送つて溫度を下げる、濕度の不足な時は、蒸氣を吹き込んでこれを補ふのであります。

木材の乾燥が必要な乾燥度に達したか否かを見るためには、測定せんとする木材の適當位置から試験片を取りその重量を測り、この木片を電氣乾燥爐に入れて、絶對乾燥をさせて重量を測り、次の式によつて計算します。

第一一五圖 乾燥豫定表



$$\text{乾燥度} = \frac{(\text{初の重量}) - (\text{絶対乾燥重量})}{\text{絶対乾燥重量}} \times 100$$

木材が乾燥しても、直ちに乾燥室から出すことは避けねばなりません。乾燥したならば先づ熱を送ることを中止し、徐々に冷却するのを待つて、外気の温度とほど同様になつてから木材を取り出します。

高溫度の乾燥室から、冷たい外氣中に木材を出すと折角乾燥したものに龜裂を生ずることがあります。

### 語解

**大氣** 室外の空氣のことを大氣といひます。

### 一メートル換算表

メートル	尺貫法	ヤードボンド法
1 粮	0.00330	0.03937呂
1 瓦	0.03300	0.39370呂
1 粉	0.33000	0.32808呂
1 米	3.30000	1.09361鳴
1 斧	9.16667町	0.62137哩

△米を間に直すには 1 割を加へ 2 除する

△米を尺に直すには 1 割を加へ 3 倍する

△1米は鯨尺の 2.64 に相當する

## 附錄 一般工作表と工學用語

### 第一節 一般工作表

#### 各種換算因數表

右記の  
數字を掛けること。

時速杆を時速哩に直すには	..... 0.6214
時速哩を時速杆に直すには	..... 1.6093
1米に對する匁を1呪に對する封度に直すには	..... 0.67196
1米に對する匁を1ヤードに對する封度に直すには	..... 2.01587
1呪に對する封度を1米に對する匁に直すには	..... 1.48819
1ヤードに對する封度を1米に對する匁に直すには	..... 0.49806
1平方呎の氣壓に對する匁を1平方吋に對する封度に直すには	..... 14.22282
1平方米に對する匁を1平方呪に對する封度に直すには	..... 0.20481
1平方吋の氣壓に對する封度を1平方呎に對する匁に直すには	..... 0.07031
1平方呪に對する封度を1平方米に對する匁に直すには	..... 4.88261
1立方呎に對する匁を1立方吋に對する封度に直すには	..... 36.1253
1立方米に對する匁を1立方ヤードに對する封度に直すには	..... 0.06242
1立方吋に對する匁を1立方ヤードに對する封度に直すには	..... 1.68546
1立方吋に對する封度を1立方呎に對する匁に直すには	..... 0.02768
1立方呎に對する封度を1立方米に對する匁に直すには	..... 16.019
1立方ヤードに對する封度を1立方米に對する匁に直すには	..... 0.5933
匁・メーターをフート・ボンドに直すには	..... 7.23314
トン・メーターをフート・トンに直すには	..... 3.22903
フート・ボンドを匁・メーターに直すには	..... 0.13825
フート・トンをトン・メーターに直すには	..... 0.30963
馬力を毎秒のフート・ボンドに直すには	..... 550
1馬力のワット単位	..... 746
ワットを馬力に直すには	..... 0.00134
ワットを毎分のフート・ボンドに直すには	..... 44.24

## 分數と小數の對照表

8 ths	32 ds	64 ths	$\frac{33}{64} = 0.515625$
$\frac{1}{8} = 0.125$	$\frac{1}{32} = 0.03125$	$\frac{1}{64} = 0.015625$	$\frac{35}{64} = 0.546875$
$\frac{1}{4} = 0.250$	$\frac{3}{32} = 0.09375$	$\frac{3}{64} = 0.046875$	$\frac{37}{64} = 0.578125$
$\frac{3}{8} = 0.375$	$\frac{5}{32} = 0.15625$	$\frac{5}{64} = 0.078125$	$\frac{39}{64} = 0.609375$
$\frac{1}{2} = 0.500$	$\frac{7}{32} = 0.21875$	$\frac{7}{64} = 0.109375$	$\frac{41}{64} = 0.640625$
$\frac{5}{8} = 0.625$	$\frac{9}{32} = 0.28125$	$\frac{9}{64} = 0.140625$	$\frac{43}{64} = 0.671875$
$\frac{3}{4} = 0.750$	$\frac{11}{32} = 0.34375$	$\frac{11}{64} = 0.171875$	$\frac{45}{64} = 0.703125$
$\frac{7}{8} = 0.875$	$\frac{13}{32} = 0.40625$	$\frac{13}{64} = 0.203125$	$\frac{47}{64} = 0.734375$
16 ths	$\frac{15}{32} = 0.46875$	$\frac{15}{64} = 0.234375$	$\frac{49}{64} = 0.765625$
$\frac{1}{16} = 0.0625$	$\frac{17}{32} = 0.53125$	$\frac{17}{64} = 0.265625$	$\frac{51}{64} = 0.796875$
$\frac{3}{16} = 0.1875$	$\frac{19}{32} = 0.59375$	$\frac{19}{64} = 0.296875$	$\frac{53}{64} = 0.828125$
$\frac{5}{16} = 0.3125$	$\frac{21}{32} = 0.65625$	$\frac{21}{64} = 0.328125$	$\frac{55}{64} = 0.859375$
$\frac{7}{16} = 0.4375$	$\frac{23}{32} = 0.71875$	$\frac{23}{64} = 0.359375$	$\frac{57}{64} = 0.890625$
$\frac{9}{16} = 0.5625$	$\frac{25}{32} = 0.78125$	$\frac{25}{64} = 0.390625$	$\frac{59}{64} = 0.921875$
$\frac{11}{16} = 0.6875$	$\frac{27}{32} = 0.84375$	$\frac{27}{64} = 0.421875$	$\frac{61}{64} = 0.953125$
$\frac{13}{16} = 0.8125$	$\frac{29}{32} = 0.90625$	$\frac{29}{64} = 0.453125$	$\frac{63}{64} = 0.984375$
$\frac{15}{16} = 0.9375$	$\frac{31}{32} = 0.96875$	$\frac{31}{64} = 0.484375$	

## 分數耗と小數時の對照表

耗	時	耗	時	耗	時	耗	時
$\frac{1}{100} =$	.00039	$\frac{29}{100} =$	.01102	$\frac{55}{100} =$	.02165	$\frac{82}{100} =$	.03223
$\frac{2}{100} =$	.00079	$\frac{29}{100} =$	.01142	$\frac{53}{100} =$	.02205	$\frac{83}{100} =$	.03268
$\frac{3}{100} =$	.00118	$\frac{39}{100} =$	.01181	$\frac{57}{100} =$	.02244	$\frac{84}{100} =$	.03307
$\frac{4}{100} =$	.00157	$\frac{31}{100} =$	.01220	$\frac{58}{100} =$	.02283	$\frac{85}{100} =$	.03346
$\frac{5}{100} =$	.00197	$\frac{32}{100} =$	.01260	$\frac{59}{100} =$	.02323	$\frac{86}{100} =$	.03386
$\frac{6}{100} =$	.00236	$\frac{33}{100} =$	.01299	$\frac{60}{100} =$	.02362	$\frac{87}{100} =$	.03425
$\frac{7}{100} =$	.00276	$\frac{34}{100} =$	.01339	$\frac{61}{100} =$	.02402	$\frac{88}{100} =$	.03465
$\frac{8}{100} =$	.00315	$\frac{35}{100} =$	.01378	$\frac{62}{100} =$	.02441	$\frac{89}{100} =$	.03504
$\frac{9}{100} =$	.00354	$\frac{31}{100} =$	.01417	$\frac{63}{100} =$	.02480	$\frac{90}{100} =$	.03543
$\frac{10}{100} =$	.00394	$\frac{37}{100} =$	.01457	$\frac{64}{100} =$	.02520	$\frac{91}{100} =$	.03583
$\frac{11}{100} =$	.00433	$\frac{38}{100} =$	.01496	$\frac{65}{100} =$	.02559	$\frac{92}{100} =$	.03622
$\frac{12}{100} =$	.00472	$\frac{39}{100} =$	.01535	$\frac{66}{100} =$	.02598	$\frac{93}{100} =$	.03661
$\frac{13}{100} =$	.00512	$\frac{41}{100} =$	.01575	$\frac{67}{100} =$	.02638	$\frac{94}{100} =$	.03701
$\frac{14}{100} =$	.00551	$\frac{41}{100} =$	.01614	$\frac{68}{100} =$	.02677	$\frac{95}{100} =$	.03740
$\frac{15}{100} =$	.00591	$\frac{42}{100} =$	.01654	$\frac{69}{100} =$	.02717	$\frac{96}{100} =$	.03780
$\frac{16}{100} =$	.00630	$\frac{43}{100} =$	.01693	$\frac{70}{100} =$	.02756	$\frac{97}{100} =$	.03819
$\frac{17}{100} =$	.00669	$\frac{44}{100} =$	.01732	$\frac{71}{100} =$	.02795	$\frac{98}{100} =$	.03858
$\frac{18}{100} =$	.00709	$\frac{45}{100} =$	.01772	$\frac{72}{100} =$	.02835	$\frac{99}{100} =$	.03898
$\frac{19}{100} =$	.00748	$\frac{46}{100} =$	.01811	$\frac{73}{100} =$	.02874		
$\frac{20}{100} =$	.00787	$\frac{47}{100} =$	.01850	$\frac{74}{100} =$	.02913		
$\frac{21}{100} =$	.00827	$\frac{48}{100} =$	.01890	$\frac{75}{100} =$	.02953		
$\frac{22}{100} =$	.00866	$\frac{49}{100} =$	.01929	$\frac{76}{100} =$	.02992		
$\frac{23}{100} =$	.00906	$\frac{50}{100} =$	.01969	$\frac{77}{100} =$	.03031		
$\frac{24}{100} =$	.00945	$\frac{51}{100} =$	.02008	$\frac{78}{100} =$	.03071		
$\frac{25}{100} =$	.00984	$\frac{52}{100} =$	.02047	$\frac{79}{100} =$	.03110		
$\frac{26}{100} =$	.01024	$\frac{53}{100} =$	.02087	$\frac{80}{100} =$	.03150		
$\frac{27}{100} =$	.01063	$\frac{54}{100} =$	.02126	$\frac{81}{100} =$	.03189		

附錄 一般工作表

	耗	時	耗	時	耗	時	耗	時
耗 と 時 比 較 表	1	0.0394	31	1.2205	61	2.4016	91	3.5827
	2	0.0787	32	1.2599	62	2.4410	92	3.6221
	3	0.1181	33	1.2992	63	2.4804	93	3.6615
	4	0.1575	34	1.3386	64	2.5197	94	3.7008
	5	0.1969	35	1.3780	65	2.5591	95	3.7402
	6	0.2302	36	1.4173	66	2.5985	96	3.7796
	7	0.2756	37	1.4567	67	2.6378	97	3.8190
	8	0.3150	38	1.4961	68	2.6772	98	3.8583
	9	0.3543	39	1.5355	69	2.7169	99	3.8977
	10	0.3937	40	1.5748	70	2.7560	100	3.9371
	11	0.4331	41	1.6142	71	2.7953	105	4.1339
	12	0.4724	42	1.6536	72	2.8347	115	4.5276
	13	0.5118	43	1.6929	73	2.8741	125	4.9213
	14	0.5512	44	1.7323	74	2.9134	135	5.3151
	15	0.5906	45	1.7717	75	2.9528	145	5.7088
	16	0.6299	46	1.8111	76	2.9922	155	6.1025
	17	0.6693	47	1.8504	77	3.0315	165	6.4962
	18	0.7087	48	1.8898	78	3.0709	175	6.8899
	19	0.7480	49	1.9292	79	3.1103	185	7.2836
	20	0.7874	50	1.9685	80	3.1497	195	7.6778
	21	0.8268	51	2.0079	81	3.1890	205	8.0710
	22	0.8662	52	2.0473	82	3.2284	215	8.4674
	23	0.9055	53	2.0866	83	3.2678	225	8.8584
	24	0.9449	54	2.1260	84	3.3071	235	9.2521
	25	0.9843	55	2.1654	85	3.3465	245	9.6458
	26	0.0236	56	2.2048	86	3.3859	255	10.0400
	27	1.0630	57	2.2441	87	3.4253	265	10.4330
	28	1.1024	58	2.2835	88	3.4646	275	10.8270
	29	1.1417	59	2.3229	89	3.5010	285	11.2210
	30	1.1811	60	2.3622	90	3.5434	295	11.6140

附錄 一般工作表

時の分數及び小數と耗比較表	時		耗	時		耗
	1/64	0.015625	0.397	33/64	0.515625	13.097
	1/32	0.03125	0.794	17/32	0.53125	13.494
		3/64	0.046875	1.191	35/64	0.546875
1/16	0.0625	1.588	9/16	0.5625	14.287	
5/64	0.078125	1.985	37/64	0.578125	14.684	
3/32	0.09375	2.381	19/32	0.59375	15.081	
7/64	0.109375	2.778	39/64	0.609375	15.473	
1/8	0.125	3.175	5/8	0.625	15.875	
9/64	0.140625	3.572	41/64	0.640625	16.272	
5/32	0.15625	3.969	21/32	0.65625	16.663	
11/64	0.171875	4.366	43/64	0.671875	17.065	
3/16	0.1875	4.762	11/16	0.6875	17.462	
13/64	0.203125	5.159	45/64	0.703125	17.859	
7/32	0.21875	5.556	23/32	0.71875	18.256	
15/64	0.234375	5.963	47/64	0.734375	18.653	
1/4	0.25	6.350	3/4	0.75	19.050	
17/64	0.265625	6.747	49/64	0.765625	19.447	
9/32	0.28125	7.144	25/32	0.78125	19.842	
19/32	0.296875	7.541	51/64	0.796875	20.240	
5/16	0.3125	7.937	13/16	0.8125	20.637	
21/64	0.328125	8.334	53/64	0.828125	20.034	
11/32	0.34375	8.731	27/32	0.84375	21.432	
23/64	0.359375	9.128	55/64	0.859375	21.827	
3/8	0.375	9.525	7/8	0.875	22.224	
25/64	0.390625	9.922	57/64	0.890625	22.621	
13/32	0.40625	10.319	29/32	0.90625	23.018	
27/64	0.421875	10.716	59/64	0.921875	23.415	
7/16	0.4375	11.112	15/16	0.9375	23.812	
19/64	0.453125	11.509	61/64	0.953125	24.209	
15/32	0.46875	11.906	31/23	0.96875	24.607	
31/64	0.484375	12.303	63/64	0.984375	25.006	
1/2	0.5	12.700	1	1.0000	25.400	

日本・米式・英式重量對照表

6

質	匁	斤	英 噌	ハンドレッド ウエイ	クオーター	封 度	莊
1	1000	6.25	0.0036908	0.0738155	0.295262	8.267334	3.75
0.001	1	0.00325	0.00000369	0.0000738	0.0002953	0.0082673	0.00375
0.16	100	1	0.0005905	0.01181	0.047242	1.32277338	0.6
270.94557	270945.57	1603.4117	1	20	80	2240	1016.05
13.5473	13547.3	84.07059	0.05	1	4	112	50.8024
3.38688	3386.88	21.16772	0.0125	0.25	1	23	12.7
0.120958	120.958	0.756	0.00044643	0.0089286	0.0257144	1	0.453592
0.26557	266.67	1.6667	0.000984206	0.019694	0.078736	2.20462	1

附錄 一般工作表

7

勾 配 表 (吋寸法)

勾しの 配た長 を部分さ	1呎に對する勾配								
	$\frac{1}{16}$	$\frac{3}{32}$	$\frac{1}{8}$	$\frac{1}{4}$	$\frac{3}{8}$	$\frac{1}{2}$	$\frac{5}{8}$	$\frac{3}{4}$	1
$\frac{1}{16}$	.0002	.0002	.0003	.0007	.0010	.0013	.0016	.0020	.0026
$\frac{2}{16}$	.0003	.0005	.0007	.0013	.0020	.0026	.0033	.0039	.0052
$\frac{3}{16}$	.0007	.0010	.0013	.0026	.0039	.0052	.0065	.0078	.0104
$\frac{4}{16}$	.0010	.0015	.0020	.0039	.0059	.0078	.0098	.0117	.0156
$\frac{5}{16}$	.0013	.0020	.0026	.0052	.0078	.0104	.0130	.0156	.0208
$\frac{6}{16}$	.0016	.0024	.0033	.0065	.0098	.0130	.0163	.0195	.0260
$\frac{7}{16}$	.0020	.0029	.0039	.0078	.0117	.0156	.0195	.0234	.0312
$\frac{8}{16}$	.0023	.0034	.0046	.0091	.0137	.0182	.0228	.0273	.0365
$\frac{9}{16}$	.0026	.0039	.0052	.0104	.0156	.0208	.0260	.0312	.0417
$\frac{10}{16}$	.0029	.0044	.0059	.0117	.0176	.0234	.0293	.0352	.0469
$\frac{11}{16}$	.0033	.0049	.0065	.0130	.0195	.0260	.0326	.0391	.0521
$\frac{12}{16}$	.0036	.0054	.0072	.0143	.0215	.0280	.0358	.0430	.0573
$\frac{13}{16}$	.0039	.0059	.0078	.0156	.0234	.0312	.0391	.0469	.0625
$\frac{14}{16}$	.0042	.0063	.0085	.0169	.0254	.0339	.0423	.0508	.0677
$\frac{15}{16}$	.0046	.0068	.0091	.0183	.0273	.0365	.0456	.0547	.0729
1	.0049	.0073	.0098	.0195	.0293	.0391	.0488	.0586	.0781
2	.0052	.0078	.0104	.0208	.0312	.0417	.0521	.0625	.0833
3	.0104	.0156	.0208	.0417	.0625	.0833	.1042	.125	.1667
4	.0156	.0234	.0312	.0625	.0937	.1250	.1562	.1875	.250
5	.0208	.0312	.0417	.0833	.125	.1667	.2083	.250	.3333
6	.0260	.0391	.0521	.1042	.1562	.2083	.2604	.3125	.4167
7	.0312	.0469	.0625	.125	.1875	.250	.3125	.375	.500
8	.0365	.0547	.0729	.1458	.2187	.2917	.3640	.4375	.5833
9	.0417	.0625	.0833	.1667	.250	.3333	.4167	.500	.6667
10	.0469	.0703	.0937	.1875	.2812	.375	.4687	.5625	.750
11	.0521	.0781	.1042	.2033	.3125	.4167	.5208	.625	.8333
12	.0573	.0859	.1148	.2393	.3437	.4583	.5729	.6875	.9167
13	.0625	.0937	.125	.2500	.375	.500	.625	.755	1.000
14	.0677	.1016	.1354	.2708	.4062	.5417	.6771	.8125	1.0833
15	.0729	.1094	.1458	.2916	.4375	.5833	.7292	.875	1.1667
16	.0781	.1172	.1562	.3125	.4687	.6250	.7812	.9375	1.250
17	.0833	.125	.1867	.3333	.500	.6667	.8333	1.080	1.3333
18	.0885	.1328	.1771	.3542	.5312	.7083	.8854	1.0625	1.4167
19	.0937	.1406	.1875	.3750	.5625	.750	.9375	1.125	1.500
20	.0990	.1484	.1979	.3958	.5937	.7917	.9896	1.1875	1.5833
21	.1042	.1562	.2033	.4167	.625	.8333	1.0417	1.250	1.6667
22	.1094	.1641	.2187	.4375	.6562	.875	1.0937	1.3125	1.750
23	.1146	.1719	.2292	.4583	.6875	.9167	1.1458	1.375	1.8333
24	.1198	.1797	.2396	.4792	.7187	.9583	1.1979	1.4375	1.9167
	.125	.1875	.250	.500	.750	1.000	1.250	1.500	2.000

## 第二節 機械標準用語

工場で使用される言葉は、同じ品物に對しても、其の土地土地により其の人々に依つてまちまちで、大變不便でありましたので、昭和六年一月三十一日内閣訓令を以て、その標準語を選定し、爾來定められた標準語を以て統一されることになりました。次に掲げたものはその中主要なものであります。

## 太字が標準用語

	<b>ア</b>	
青寫真機	電氣複寫機、電光青寫真機、電氣青寫真燒付機械	アーマチュア 電機子 アヤメ鑑 覆目鑑 荒目鑑 大目鑑 アルコール計 酒精計、酒精定量器
上げタップ	三番タップ	アンカーボルト 基礎ボルト
足踏ブレーキ	足ブレーキ	アングルゲージ 角度ゲージ
足弁	底弁	完全弁 保安弁、セーフティバルブ
遊尺	副尺	アンニーリング フィーネス 燃鈍爐
孔グリ盤	リーマ盤	内面研磨盤
孔研磨機	内面研磨盤	アンビル 金數 アンメーター 電流計
油壺	油箱、オイルカツブ	
油砥石機	研上盤	イギリススパナ 自在スパナ
油燃焼機	油バーナ	石目鑑 鬼鑑、ワサビ目鑑、木鑑
油目鑑	デツドスマーズ カツトフアイル	

イ

	<b>ウ</b>	
入籠	ブシユ	先タップ
入子煙突	入籠煙突、竹の子煙突	押ネヂ 止ネヂ オネヂ ヲネヂ 雄ネヂ切り ダイス
		帶研磨機 帶鍼盤
		親軸 主軸
		親タップ 種タップ
		親ネヂ 主ネヂ、リードスクリウ
		折尺 叠尺
		折齒齒車 山形齒車
		<b>力</b>
		ウツドスクリウ 木ネヂ ウツロ錐 中空錐 ウツロ軸 中空軸 腕回起重機 ジブ起重機 腕回ボール盤 ラチアルボール盤
		外徑バス 外バス 回螺器 スパン 傘形齒車 傘齒車 風戸 ダンパー
		ガスタップ ガスネヂタップ
		型 火造型 型取機 做盤
		片筋鑑 薄目鑑 片目鑑 薄目鑑 硬さ計 硬試驗機
		炭鑑 鑑紙、サンドペーパー、磨研紙
		カム 如意、撓輪、歪輪
		硝子平行検定器 光線定盤 鉗子 ベンチ 鉋 バイト

キ	
キ一	綫栓, 梗
機械タツブ	マシンタツブ, 太郎
菊ナット	溝付ナット
キサゲ	キシヤゲ, シカラツブ, キサギ削刀, シカラ
起重機	クレーン, 揚重機
基礎ボルト	埋込ボルト, アンカーボルト, 鎮錠
逆轉装置	反轉装置
吸水管	吸出管
鏡玉	レンズ
挟範	限界ゲージ
曲縁	フランジ
曲拐	クランク
霧吹	噴霧器
キン	ネチプレス
金属バツキン	金属性塗り物, 金バツキン, 金詰物, 金緊塞
ク	
食達齒車	双曲線體齒車
空氣錐	空氣ボール, ニウマチツクドリル
空氣手ハンマ	ニウマチツクハンマ

空氣ハツリ機	
空氣ボール	空氣錐
鎖齒車	鏈齒車
樹形ロール	樹形バイト
クラツチ	聯動機, 掛外接手
ケ	
計算尺	スライドスケール
ケガキ針	野書き針
限界顯微鏡	ウルトラ顯微鏡
減速装置	減速齒車
顯微鏡	マイクロスコープ
研磨紙	紙鍼
研磨紙	砥石車
研磨布	布鍼
コ	
高溫計	高溫度計, バイロメータ
工具	ツール
光學高溫計	光高溫計
扛重機	ジャツキ
抗張力試驗機	引張試驗機
甲丸鍼	半丸鍼
鞍	ボス
コツタ	横栓
駒	ダイス

コロ軸受	
金剛砂布	布鍼
金剛砥石	人造砥石
コンバス	兩脚器
サ	
座金	坐金, ウオツシヤー
先タツブ	一番タツブ
搜子(サグリ)	隙間ゲージ
差動齒車	デフレンシヤルギテ
皿鍼	沈鍼
皿ボルト	沈みボルト, 沈めボルト
サンドブラスト	砂吹機
サンドペーパー	紙鍼
シ	
ジグ	治具
軸受	軸承, ベアリング
軸頸	ジャウナル, 軸首
自在接手	萬能接手
自在鍼掛機	鍼盤
尺帶	卷尺
ジャクリ鉋	溝鉋
主軸	親輔
受心臺	心押臺
セ	
正齒車	平齒車
勢輪	ハズミ車
セカンドカット	中目鍼
ファイル	
接眼レンズ	接眼鏡, 對眼レンズ
セーフティバイブ	安全弁
セミ	チエンブロック
旋盤	グライパン, レース, 旋造機

線型ゲージ	針金ゲージ
センシチーブ鑄孔機	手加減ボール盤
扇車	羽根車
ゼンマイ	バネ
<b>ソ</b>	
走行ホイスト	移動ホイスト
副尺	遊尺, パーニア
測線器	マイクロメータ
ソケット	受口
外カリバス	外バス
<b>タ</b>	
ダイカスト機	ダイキャスティングマシン
対物レンズ	対物鏡
臺付野書針	トースカン
臺秤	カンカン
臺枠	枠, 臺框
ダイス	駒, 雄ネヂ切り
ダイス廻し	ネヂ型回し
ダイヤルゲージ	ダイヤルインジケータ, ダイヤル計
タイヤ	外輪, 輪帶, 輪鐵
タガネ	轆, チゼル
タツバー	ネヂ立盤
タツブ	雄ネヂ切り, 雄ネヂ型
タハム接手	撓接手

球軸受	球入軸受, ボールベアリング
太郎	手回タツブ
太郎	機械タツブ
彈機	バネ
<b>チ</b>	
着火栓	點火栓
中目井	セカンドカット
調帶	ベルト
蝶形ナット	蝶ナット
<b>ツ</b>	
ツイストドリル	ツイストドリル
接ナット	ユニオンナット
爪車	ラチエット
ツール	工具
弦掛鋸機	弓鋸盤
<b>テ</b>	
テープ	巻尺
テールストック	心押臺
テットスマーズ	油目鏡
カツトフアイル	
電壓計	ボルトメーター
電磁	電磁石
電流計	アンメーター
電力計	ワットメーター
轉把	ハンドル

D, Cモーター	直流電動機
<b>ト</b>	
氣筒	シリンド
投光器	反射鏡
刀刃鋸	刃鋸
砥上盤	油砥石機, 油砥磨機, 油砥機, ポーリングマシン
床萬力	立萬力
突綠	フランジ
ドッグクラツチ	咬合クラツチ
取付萬力	立萬力
取瓶	トリベ
止ナット	ロツクナット, ジャムナット
止ネヂ	押ネヂ
ドライバー	ネヂ回
トランシット	轉鏡儀
トンボ	フライヤ
<b>ナ</b>	
内筒	ブシュ
中子	心, コア
中タツブ	二番タツブ
中繼シリンド	壓油笛
ナット	母螺, 牝螺
<b>ニ</b>	
ニサイクル機關	二衝程機關
<b>ノギス</b>	
ノニス, バーニアキヤリバー	

ノズル	ノツズル, 噴出口, 嘴管, 尖管, 筒口, 噴射嘴
延び尺	繩物尺
	ハ
排水(油)管	ドレン管
排水弁	吹出弁
排水ポンプ	除水唧筒, ドレンホーリングポンプ
バイス	萬力
バイト	刃物, 鋏, 刃具
配電盤	スイッチボード
自車	ギア
尙竿	ラツク
齒鑓	刃鑓
函スパナ	箱スパナ
箱萬力	引出萬力, 置萬力, 平行萬力
ハシ	ヤツトコ
ハンドル	把手, 把柄
ハズミ車	節動輪, 飛輪, フライホイール, 勢輪
發條	バネ
發條安全弁	バネ安全弁
バツキン抑	詰物抑, バツキン抑
バネ坐金	バネ座金
バフ盤	バフ磨き盤, 磨機, 磨掃機

バランシングマシン	釣合試驗機
バランス	天秤
針金ゲージ	線型ゲージ
バルソメーター	ダルマポンプ
バルバライザー	微粉機
バルブ	弁
ハンドタップ	手回タップ
ハンドボール	追齒錐
半丸弁	甲丸鍔
	ヒ
比較測長機	比較測長器, 比較測定器, コンパレーター
光高溫計	光學的高溫計, 光度高溫計, 光學高溫計
引上滑車	チエンプロツク
引締ネチ	張りネチ, タンバツクル, 締金物
火格子	火床架
肘軸受	突出軸承, ブラケット軸承
火吹ランプ	トーチランプ
ヒューズ	鎔解線, 可鎔線, 安全鎔解線, 鎔解片, 安全鎔解線, 可鎔片
ヒンジドバルブ	蝶番弁

フ	弁 弁座 偏心内輪 偏心外輪 ベンチ ベンチバイス	弁, バルブ バルブシート, 弁座 偏心中輪, 偏心板, エキセン板 エキセン帶 鉗子 立萬力
	フアーネス フィゴ 複目鑑 覆板 ブザ ブラシ ブラニメーター フランジ プランジャポンブ プレス プレストドリル ブローチ	鍼 鞴, 吹子 アヤメ鑑 目板 挑動器, 蜂鳴器 ブラツシユ, 刷子 面積計 鋸, 突緣, 曲線, 邊 プランジャー式 唧筒, 構形唧筒 唧筒, 圓筒型唧筒 唧筒, 唧子唧筒 壓搾機, ベルス ベレス, ブレツ ス, 壓縮機, ポンス 胸當錐 矢
	ヘ	
	ペアリング ヘッドストック ベルクランク ヘッダー ペドメータ ベルト寄	軸受 主軸臺 釣鐘クランク 管寄 歩數計 革寄せ, 移動裝置, ベルトシフター
	マイクロスコープ マイクロメータ ベルクランク ヘッダー ペドメータ ベルト寄	顯微鏡 測線器, 微塵計, 測微器, ミクロ メータ 釣鐘クランク 管寄 歩數計 革寄せ, 移動裝置, ベルトシフター
	卷尺 マシンタツブ マシンツール 丸砥石機	尺帶, テープ 機械タツブ 工作機械 砥石車

	ミ
水ジヤケツ	水 衣
溝付ナット	菊ナット, スローツテッドナット
三口コツク	三方コツク
ミクング	フライス盤
	ム
無軌道電車	無軌條電車
	メ
目釘接手	ピン接手
目盛機	目盛機械
	モ
輻	リム
木製車	木造車
木ネチ	木螺子, 木螺, ウッドスクリウ
模 範	限界ゲージ
	ヤ
輻	スポーク
鍼 紙	紙 鍼
鍼 盤	鍼機, 自在鍼掛機
山形齒車	二重斜め齒車, 山形斜め齒車, 二重斜齒々車, 折齒々車

	ユ
誘導子	インダクター
弓鋸盤	弦鋸機, 弦掛鋸機
	ヨ
熔鐵爐	鎔鐵炉, 街風炉
熔接機	鎔接機, ウエルディングマン
熔銑炉	鎔解炉, 熔解炉
熔融爐	鎔解炉, 熔解炉
搖動唧筒	羽根ポンプ
	ラ
螺錐チャック	離ヤツク
ラチエット	爪 車
ラツブ盤	ラツブ磨き盤, 摺合機
	リ
リーマボルト	打込ボルト, 密着ボルト, 密着螺釘
	リンク
	聯動裝置, 連動裝置
	ル
ルツボ爐	坩堝炉
	レ

レトルト	堵, 筒堵
レール曲機	軌條彎曲機, 軌條彎曲器
レンズ	鏡 玉
	ロ
爐	窯, ファーネス
ロツクナット	止ナット
	ワ
歪 輪	カム
割出臺	イソデックスヘッド, デバイディングヘッド
割ビン	割 桿
割 目	縮 尺
彎 管	サイホン
	ヲ
ヲネヂ	ヲネヂ, 牡螺, オネヂ

## 第三節 英和工學語用

ア

アクセレレーション	Acceleration	加速度
アシデンダム サークル	Addendum Circle	頂 圓
アキスル	Axle	車 軸

イ

インパルス タービン	Impulse Turbine	衝擊水車
インターナル コンバツション エンヂン		

Internal Combustion Engine

内燃機關

ウ

ウインチ	Winch	捲揚機
ウォーム ホイール	Worm Wheel	螺旋齒車
ウォーター ホイール	Water Wheel	水 車
ウォーター タービー	Water Turbine	水力タービン

エ

エナーデー	Energy	エネルギー
エフィシエンシー	Efficiency	効 率
エキスターナル コンバツション エンジン		

External Combustion Engine

外燃機關

エクセントリック

Eccentric

偏心輪

オ

オイル エンヂン

Oil Engine

石油發動機

カ

ガン メタル

Gnm Metal

砲 金

カップリング

Coupling

聯結機

カム

Cam

歪 輪

ガス エンヂン

Gas Engine

瓦斯機關

キ

キー

Key

栓

キャスト アイオン

Cast Iron

鑄 鐵

キャスト スチール

Cast Steel

鑄 鋼

ク

クレーン

Crane

起重機

グラビティー

Gravity

重 力

クランク

Crank

曲 柄

クロス ヘッド

Cross Head

滑 頭

コ

コンプレツション

Compression

壓 縮

コーラム

Column

柱

コンバストション

Combustion

燃 燒

コンネクチング ロッド

Connecting Rod

連 結

## サ

サークュラー ピッチ

Circular pitch

## 圓 節

## シ

シェーピング マシン

Shaping Machine

カティスパン  
成形機

ジャッキ

Jack

ジャッキ

シャフト

Shaft

迴轉軸

シーアリング

Shearing

剪 斷

シリンダー

Cylinder

氣 管

## ス

スロットル バルブ

Throttle Valve

絞 開

スクリウ

Screw

螺 子

スパナー

Spanner

螺子廻し

スパー ギヤー

Spur Gear

正齒車

スピンドル

Spindle

心 棒

ストレーン

Strain

變 形

ストレッス

Stress

內 力

スプリング

Spring

發 條

スチーム エンジン

Steam Engine

蒸 汽 機 關

スチーム タービン

Steam Turbine

蒸 汽 タービン

## セ

セーフチー バルブ

Safty Valve

安全閥

セーフ ウォーキング ストレンジス

## Safe Working Strength

安全使用強さ

## タ

ダイアナメーター

Diameter

直 徑

ダイアメトラル ピッチ

Diametral Pitch

徑 節

## チ

チエイン

Chain

鎖

チエイン ホイル

Chain Wheel

鎖 車

## テ

テンション

Tension

引張り

テスチング マシン

Testing Machine

材料強力試驗機

## ト

ドリルリング マシン

Drilling Machine

鑽孔機

トーション

Torsion

捻 扭

## ナ

ナット

Nut

ナット

ノツヅル

Nozzle

筒 口

ハンドル

Handle

把 手

バイズ

Vise

萬 力

バンド ソーイング マシン Band Sawing Machine 帶鋸機

バルブ Valve 開

パイプ Pipe 管

**ヒ**

ヒッチ サークル Pitch Circle 節圓

ビーム Beam 梁

ヒート エンジン Heat Engine 热機関

ピストン Piston 活子

ピストン ロッド Piston Rod 活子桿

**フ**

フレーニング マシン Pleining Machine 平削機

フォース Force 力

プレス Press 壓搾機

フリクション Friction 摩擦

プーレー Pulley 調車

ブローアー Blower 送風機

ブリーリング ストレンジス Breaking Strength 破壊強さ

ファクター オブ セーフティ Factor of Safety 安全率

プライム ミーダー Prim Mover 原動機

フューエル Fuel 憚料

フライ ホイール Fly Wheel ハグミ車

ペロシチ Velocity 速度

ペヤリング Bearing 軸受

ベルト Belt 調帶

ベベル ホイール Bevel Wheel 斜齒輪

ベンディング Bending 弯曲

**ホ**

ポンプ Pump 吸筒

ボルト Bolt ボルト

ボール ベヤリング Ball Bearing 球軸受

ボイラ Boiler 汽罐

**マ**

マイルド スチール Mild Steel 軟鋼

**ミ**

ミーリング マシン Milling Machin ミーリング

**モ**

モーメント Moment 力率

モーメント オブ イナーシア Moment of Inertia 惯性力率

**ユ**

ユニット Unit 單位

ユースフル ウォーク Useful Work 有効仕事

## リ

リンク	Link	鏈 傘
リアクション タービン	Reaction Turbine	反動タービン

## ル

ループリケーティング アッパラタス	Lubricating Apparatus	給油裝置
-------------------	-----------------------	------

ルート サークル	Root Circle	根 圓
----------	-------------	-----

## レ

レース	Lathe	ダライパン 旋 盤
レール	Rail	軌 道

## ロ

ローラー ベヤリング	Roller Bearing	轉子軸受
ロスト ウォーク	Lost Work	消耗仕事
ロープ ギヤリン	Rope Gearing	綱車裝置
ロード	Load	荷 物
ワツシャー	Washer	座 金
ワインド ホイール	Wind Wheel	風 車

—終—

## 最新木工作讀本

昭和14年7月25日 印 刷

昭和14年7月30日 發 行

## 大賣捌所

東京	北隆館	東京堂
東海堂	大阪屋號	do.
大東館	上田屋	
栗田書店	星野書店	川瀬書店
名古屋	柳原書店	金文堂
大阪	大坪書店	
九州		

〔いろは順〕



監修者 杉浦宗三郎

東京市神田區猿樂町二ノ八

發行者 小泉準一

東京市板橋區板橋町三ノ六四

印刷者 石川正夫

東京市板橋區板橋町三ノ六四

印刷所 帝都印刷株式會社

## 發行所

テンセン社

東京市神田區猿樂町二ノ八

電話神岡二三九三番

振替東京五七〇二九番

定價1圓20錢 外地1圓32錢

# 書叢導指大一の成養工練熟

修監生先郎三宗浦杉 士博學工

錢四十料送錢十二圓一冊各 頁十三百二卷每製上判六四

# 各會社工場にて

本叢書は、桜浦先生監修のもとに、圖解を中心として、現場作業の實際を、小學校を出た程度の人なら、何人にも一讀して直にわかるやう、平易懇切に解説した、熟練工養成の一大指導書である。全巻十五巻！ どんな素人でも熟讀玩味すれば、容易に熟練工になれる。

山口梧郎著	支那常識讀本	四六判洋綴二〇〇頁 一圓二十錢送十錢	上	同
	新生支那讀本	菊半上製二四〇頁	附 支那語會話	上
陸軍步兵軍曹 ○○○○○著	笠井光司著	陸軍步兵中尉	暴虐支那の正體	四六判洋綴三〇〇頁 一圓二十錢送十二錢
戰線美談 同	小林騏一郎著	陸軍步兵大尉	斷末魔の支那 同	四六判洋綴二二〇頁 一圓二十錢送十錢
陸軍砲兵伍長 後堂莊四郎記	中外新報記者 木村太郎著	第一の世界大戰大戰は 何處から勃發するか	日ソ支戰爭	四六判洋綴一七〇頁 七十錢送十錢
山口梧郎著 感激實話	馬 兵 隊	四六判洋綴二二〇頁 六十錢送十錢	上	同
陸軍步兵軍曹				

安い！ 安い!!  
全く安い。  
銃後の讀物として  
よし。  
學生の讀物として  
よし。  
教材としても更に  
よし。  
何れも類書を斷然  
壓倒した一粒選りの  
名作名篇のみ。  
讀後慰問品として  
戦線に送られなば更  
によし。  
全く！ 安い!!

# 國文研究書

影山言研修會著

## 漢字起源の研究

菊判上製函入七〇〇頁  
定價四圓五十錢送料三十錢

青森高等學校著

## 新釋大鏡

菊判上製函入四五〇頁  
定價三圓送料二十二錢

藤田德太郎著

## 國文學概說

菊判上製函入三四〇頁  
定價三圓五十錢送料三十錢

阪口保著

## 短歌概說

菊判上製函入三四〇頁  
定價一圓八十錢送料十四錢

橋純一著  
阪口玄章著

## 中世國文學の研究

菊判上製函入三三〇頁  
定價三圓送料三十錢  
與謝野晶子著

白田亞浪監修

## 歌集和泉式部

菊判上製函入三三〇頁  
定價一圓三十錢送料十四錢

石田健生著

## 芭蕉と其藝術

菊判上製函入三三〇頁  
定價一圓八十錢送料十四錢

# 明るい家庭家典は是れ

萩原文博士著	新家庭百科全書	四六判上製千五百頁 三圓九十錢送三十錢
桑田法博士著	國民常識百科辭典	四六判上製千四百頁 三圓六十錢送三十錢
青木三千雄著	家庭藥草療法	四六判上製三七〇頁 一圓八十錢送十四錢
會澤真佐著	裁縫讀本	四六判上製二五〇頁 一圓二十錢送十四錢
福井才平著	妊娠育兒讀本	四六判上製二七〇頁 一圓二十錢送十二錢
福井病院長著	現代結婚讀本	四六判上製二六〇頁 一圓二十錢送十六錢
同上	現代處女讀本	四六判上製二七〇頁 一圓二十錢送十七錢
同上	現代人妻讀本	四六判上製二七〇頁 一圓二十錢送二十二錢
同上	現代性教育讀本	四六判上製二七〇頁 一圓二十錢送二十二錢

明るい家庭には明るい  
本が必要です。本欄の書  
目はその題名の示すが如  
く、老いも、若きも男女  
必讀の参考書です。  
殊に處女、結婚、人妻、  
性教育の各讀本に至りて  
は、殆んどその類書なく  
出版界最初の試みであり  
ます。

# 著名の倒壓界版出然斷

法學士	學士	萩原雲來監	根譚講話
山下光太郎	福井病院長	非常時國民讀本	一圓八十錢送廿二錢
同上	福井才平著	人 生 讀 本	四六判上製三二〇頁 二圓四十錢送廿二錢
實業綱要	高橋天海著	修養十二ヶ月	四六判上製三八〇頁 一圓五十錢送十四錢
同上	渡邊虹衣著	川柳十二ヶ月	四六判上製五七〇頁 二圓五十錢送廿二錢
博物綱要	石田龍藏著	明治祕話	四六判上製四八〇頁 二圓二十錢送廿二錢
同上	滿谷吾往齋著	日本演劇物語史	四六判上製千二百頁 三圓六十錢送二十四錢
同上	萩原雲來監	文學博士	四六判洋綴二二〇頁 一圓二十錢送十二錢
同上	地 理 綱 要	要	四六判洋綴一八〇頁 一圓送十二錢
同上	博物綱要	要	四六判洋綴一六〇頁 九十錢送十錢
同上	實業綱要	要	四六判洋綴一九〇頁 一圓送十二錢

踪跡は禁物です!

の参考書として、本欄の名著をつかむチャンスは今です。

／拂底、今後重版の見  
込絶望。全く今が絶好の  
チャンスです。

・ チヤンスです

# 最新人律法實務參考叢書

桑田熊藏	法學博士	新修六法全書	三五判上製一千七百頁 一圓五十錢送十四錢
横田秀雄	法學博士	法律提要	四圓二十錢送廿二錢
牧野菊之助	法學博士	法律經濟新辭典	三五判上製千五百頁 二圓八十錢送廿二錢
佐伯法學士	松井法學士	註釋六法全書	三五判上製七五〇頁 三圓送二十二錢
桑田熊藏	法學博士	新商法釋義	四六判上製四〇〇頁 三圓五十錢送廿四錢
同	上	新會社法釋義	四六判上製四〇〇頁 二圓八十錢送廿二錢
同	上	改正新商法	四六判洋綴一七〇頁 八十錢送八錢
同	上	改正新會社法	四六判洋綴一二〇頁 六十錢送八錢
同	上	刑法讀本	四六判上製四六〇頁 一圓九十錢送廿二錢
同	上	民法讀本	同

本叢書は何れも現代一流の大先生の編纂にかかり、新修六法法律提要、法律經濟辭典、註釋六法全書等何れも一千頁以上一千五百頁内外の内容を有し、その解説方法は、整然たる系統のもとに平易簡明に解説し、一讀直に理解出来るやうに編纂してある。又新商法、新會社法釋義は去る議會に於て、十ヶ年の歳月を費して漸く通過し、来る昭和十五年一月から實施せらるゝ最新法の解釋書である。

# 最新法律叢書

修監生先田桑士博學法

會稅 計務	新會社法	新商法	刑法	民刑	警政	憲法
官吏實務 摘要	試驗問題 答案集	新會社法 問題 摘要	新商法 問題 摘要	刑法 問題 摘要	民刑 問題 摘要	警政 問題 摘要
同	同	同	同	同	同	同
上	上	上	上	上	上	上
刊	刊	刊	刊	刊	刊	刊
四六二判洋綴三七〇錢 一圓二十錢送十二錢	同	同	同	同	同	同

三五判洋綴二〇〇頁  
七十判洋綴一八〇頁  
八十五判洋綴三五〇頁  
送八〇錢

三十判洋綴一八〇頁  
送六〇錢

三五判洋綴一八〇頁  
送六〇錢

本叢書は桑田大先生の監修に成り、普通試験を初め各種の特別任用試験を受けんとする人々に對し、正確なる教科書として、指導啓發の資料に供すると共に、一面また實務家に取つて忠實なる相談役である。内容豊富、文章は口述を用ひて平易簡明、各種試験問題を蒐集網羅して餘す所なし、尙卷末には數十頁の一問一答を掲げ、初步の人にも一讀直に理解が出來るやう便してある。

終